

代替教職員の安定した確保や人材確保につなげるための
施策に関する請願

1 趣 旨

学校現場では、人手不足が深刻であり、年度当初であっても教職員に欠員が生じることもある。年度途中には、産育休や病休などの代替教職員が見つかりにくく、講師もないため、さらに欠員が生じている。そのため、子どもたちの学習や生活に大きな影響が及んでいたり、現場の教職員が疲弊していたりしている。産育休代替教職員の確保が喫緊の課題である。また、成り手不足の今、教職を目指す若者への奨学金支援制度や教職に就いた者への奨学金返還支援制度などの人材確保につなげるための重層的な支援も必要である。子どもたちが安心・安全に過ごすことができる場、学びの質の確保のためには、教職員の未配置がなくなるようなさらなる施策が必要である。

そこで、下記のとおりに請願する。

記

教職員の人手不足が深刻化しており、年度当初や途中で欠員が生じることで、子どもたちの学習や生活に大きな影響が出ている。子どもたちが安全・安心に過ごし、学びの質を確保するためにも、教職員の未配置がなくなるよう施策を拡充すること。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民協議会 会長 笠松照喜

3 紹 介 議 員

田村康夫、北川博規、山岸みつる、細川かをり、西本恵一

4 受理年月日

令和7年11月21日